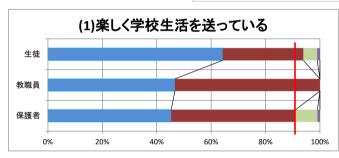
令和5(2023)年度第2回 南犬飼中の教育に係るアンケート結果並びに考察 壬生町立南犬飼中学校

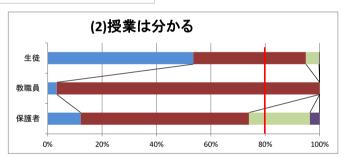
よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

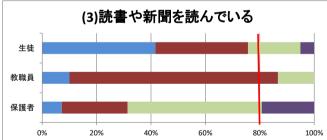
アンケートの見方

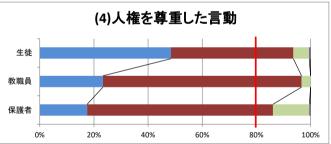
生徒、保護者、教職員それぞれが、同じ項目を「生徒の姿」を通して自己評価し、比較しています。グラフ内の縦線は、年度当初に目標値として立てた数値指標を表しています。数値指標は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合としています。 アンケート実施R5.12

学校生活全般(共通)









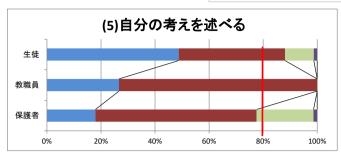
(1)(4)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成し、7月同様大変良い状態です。

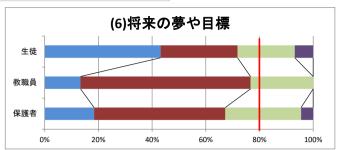
(2)は生徒・教職員は、指標を達成しています。分かると答えた生徒が9割をこえていることからも「授業は分かる」実態が把握できます。「探求的な学び」がどの教科でも実践されています。プロジェクターが整備されたことで、子どもたちの意見や考えが投影され、子どもたちの探究心が向上したと考えます。

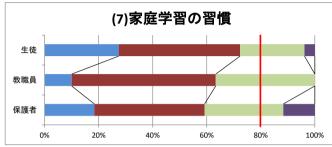
(3)は、朝の読書は定着し、時間前に読書を始める生徒も多く見られます。昨年度より「新聞を読む」ことも加えました。今回、生徒の肯定的な意見が大きく増えています。

(4)は、(1)の学校生活や(2)の授業とも大きく関連するため、「専門職としての自覚」「生徒への愛情」「範を示す」行動に努めていきます。人権週間のアンケートでは頭では大切なことはわかっているが、行動に移すことができないことに課題があります。

学ぶ力を育む





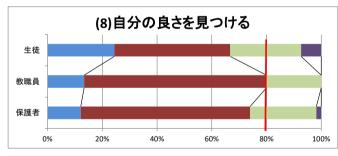


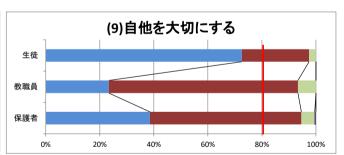


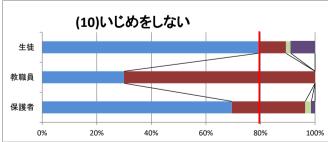
(5)は、生徒・教職員ともに指標を達成しています。特に生徒に関しては、今回指標を超えることができ、「考えを持つ」「想いを伝える」活動が充実している実態が把握できます。今後も授業やすべての教育活動において、自分の考えを発言したり、書いたりすることを丁寧に実践していきます。特に教職員の指標が大きく変化しました。Chatで生徒の意見を瞬時に教員が把握できるような環境が整ったことが背景にあると考えます。

(6)(7)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。2学期、「職業人から学ぶ」「クエストエデュケーション」など取組を行っていますが、将来の夢や目標の指標につながっていません。工夫を重ね継続していきます。学習委員会では教職員へのインタビューによる教科学習のポイントを放送するなど家庭学習の具体的な取組を紹介しました。学習の習慣化を図っていきます。

豊かな心を育む



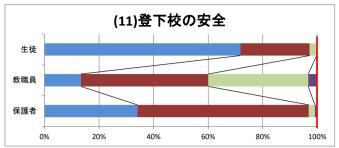


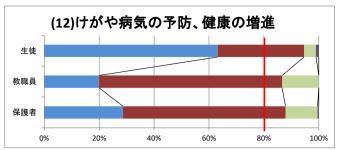


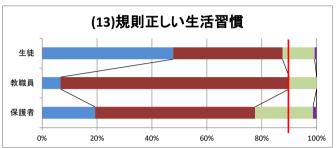


(9)(10)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し良い状態にあります。(9)教職員は、学校全体を把握していることからも、より一層生徒の良い点を見つけ、認めていきたいと考えます。なお、生徒に対して励ましの言葉掛けをより増やし自尊感情向上に努めていきます。(8)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。教職員に関しては、昨年度の6割から今年度の7割へポイントが増えている実態から、「自分の良さを見つける」働きかけを意識して行えていることがうかがえます。引き続き、自分の良さとは何かを改めて考えさせるとともに、良さを見つけ合う活動を取り入れます。

健やかな体を育む





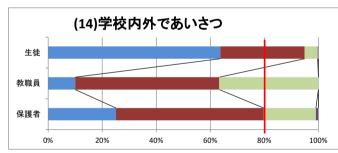


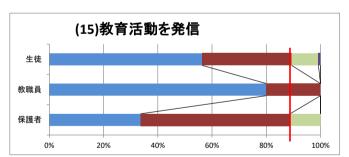


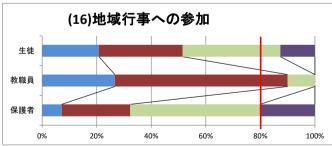
(12)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し大変良い状態にあります。マナーを守った生活が浸透していることが要因と考えます。 (11)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成できませんでした。生徒・保護者ともに9割近く安全を意識している実態は把握でき ます。登下校時の生徒の様子に関して、地域の皆様から何度かご指摘を受けました。交通マナーを通して、地域への感謝を表すこと、時 間にゆとりを持ち、ルールを遵守する指導を継続しています。

(13)は、生徒・保護者で課題となりました。限られた時間を大切にする生活習慣を今後も心掛けさせます。ご家庭でも、規則正しい生活習 慣にご協力お願いします。

地域とともにある学校









(14)は、生徒・保護者ともに指標を達成しています。生徒会が中心となり、毎月はじめに自主的にあいさつ運動に取り組んできた成果が 見られます。今後も継続して実践していきます。まだまだ全員が自分からあいさつができるわけではありません。 (15)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成しています。学校だより、学年だより、各種たよりやホームページによる教育活動の発信の成果であると考えます。また役員選挙で提案された動画発信なども今後、検討していきます。 (16)は、実施できる地域行事が減少しています。実施できる地域行事だけでなく、ボランティアとして「小さな貢献」を増やしていきます。